

感謝持進



教育は「学校が子供を教え育てる」から「保護者・地域及び学校が、子供を共に育て大人も共に育つ」共育へと変化している。

今まで受験では、仲間はある意味競争相手でした。これからは未来を共に創る共創相手に育てるのが教育の要の一つとも考えます。人権教育という「自分も他者も大切にする」ということは、こういうことも含んでいるかもしれません。

読み聞かせはお世話になりました（9月19日実施）！

とても楽しい時間であり、どの学級の児童も大変喜んで聞いていたようです。

学年	語り部	内 容
1年	加賀山瑞津子 様	心ってどこにあるのでしょう？
2年	宮田 典子 様	まいごのたまごほしをさがしに
3年	北川 美恵子 様	おかしなおきやくさま
4年	東 誠志	すてきな三にんぐみ
5年	山田 康夫 様	りゆうがあります
6年	愛甲 利孝 様	アンネ・フランク

「2冊読んでほしい」・「本を貸してほしい」などの児童の言葉からも、この読み聞かせの大切さが伝わってきます。ご協力をいただいている皆様には、大変感謝しています。今回も、児童の心にたくさん栄養がいきわたりました。

保護者も地域も運動会の準備が進んでいます！！

19日（木）にPTA役員会、20日（金）に須恵地区の運動会打合せが行われました。役員会では、各PTA専門部会それぞれの仕事の分担を確認しました。あさぎり町体育協会須恵支部合同運動会関係者の皆様とも懇親を深めました。子供たちも頑張ります。須恵地区みんなで、素敵な思い出をつくれたら幸いです。

今後も、ご支援をどうぞよろしくお願いします。

小学校の新しい学習指導要領④

保護者はもとより、地域及び社会と連携・協働して児童を育成していくというのは、「開かれた教育課程」や「地域とともにある学校」という言葉で示されています。要は、学校関係者はもとより様々な立場から、全ての大人が児童が学ぶ意味を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていこうというものです。

